2021年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名　株式会社やまや　上場取引所　東
コード番号　9994　ＵＲＬ　https://www.yamaya.jp
代表者　（役職名）代表取締役会長　（氏名）山内　英靖
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経理部長　（氏名）田原口　裕基　ＴＥＬ　022-742-3114
四半期報告書提出予定日　2020年8月14日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2021年３月期第１四半期の連結業績（2020年４月１日～2020年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年３月期第１四半期	37,401	△10.4	△171	－	580	△55.4	△107	－
2020年３月期第１四半期	41,733	2.2	1,272	△25.0	1,303	△23.5	569	△29.4

（注）包括利益　2021年３月期第１四半期　△741百万円（－%）　2020年３月期第１四半期　700百万円（△34.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年３月期第１四半期	△9.96	－
2020年３月期第１四半期	52.52	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年３月期第１四半期	65,256	35,668	48.5
2020年３月期	63,320	36,659	50.4

（参考）自己資本　2021年３月期第１四半期　31,622百万円　2020年３月期　31,925百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年３月期	－	23.00	－	23.00	46.00
2021年３月期	－				
2021年３月期（予想）		24.00	－	24.00	48.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2021年３月期の連結業績予想（2020年４月１日～2021年３月31日）

2021年３月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。当社グループの外食事業では、新型コロナウイルス感染症防止策による外出自粛要請等は、業績に大きな影響を与えます。今後の業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想が可能となりました時点で速やかに開示いたします。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年３月期１Ｑ	10,847,870株	2020年３月期	10,847,870株
②　期末自己株式数	2021年３月期１Ｑ	5,924株	2020年３月期	5,914株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2021年３月期１Ｑ	10,841,953株	2020年３月期１Ｑ	10,842,092株

（参考）個別業績の概要

１．2021年３月期第１四半期の個別業績（2020年４月１日～2020年６月30日）

（１）個別経営成績　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年３月期第１四半期	644	△96.3	526	11.5	586	△28.8	405	△31.1
2020年３月期第１四半期	17,313	△9.9	471	△7.5	823	△10.1	587	△9.8

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年３月期第１四半期	37.36	－
2020年３月期第１四半期	54.20	－

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年３月期第１四半期	42,912	30,032	70.0	2,769.95
2020年３月期	43,190	29,847	69.1	2,752.98

（参考）自己資本　2021年３月期第１四半期　30,032百万円　2020年３月期　29,847百万円

＜個別業績の前期実績値との差異理由＞ 当社は、前事業年度の2019年10月1日より、東日本地域において当社が運営する198店舗の店舗運営に係る事業を、やまや東日本株式会社に分割して承継いたしました。これにより売上高および経常利益・当期純利益は前期実績を下回りました。本件分割は、当社と当社完全子会社間で行われる吸収分割であり、当社の連結業績に与える影響は軽微です。

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、３ページ「１.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（追加情報） …… 8
（四半期連結損益計算書関係） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報
（１）　経営成績に関する説明
［事業全般の概況］
　当第１四半期連結累計期間(2020年４月１日から2020年６月30日まで)における当社グループ連結業績は、売上高374億１百万円(前年同期比10.4％減)、営業損失１億71百万円（前年同期は営業利益12億72百万円）、営業外収益に雇用調整助成金が６億87百万円計上されたことにより、経常利益５億80百万円(前年同期比55.4％減)となりました。特別損失に新型感染症対応による損失が12億１百万円計上されたこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失１億７百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益５億69百万円)となりました。
　当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、政府の自粛要請や４月７日の緊急事態宣言の発令により、経済活動が制限されました。今秋には酒税法の改正により、ビール類新ジャンルの増税が予定されております。このような環境の中、当社グループは、地域密着を図り、地産地消・地産全消に取り組み、酒販事業と外食事業の協働体制を推進いたしております。
　当第１四半期連結会計期間末において、酒販事業335店(前年同期比４店増)、外食事業904店(同87店減)、グループ合計店舗数1,239店(同83店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

［酒販事業］
　酒販事業における売上高は348億62百万円(前年同期比18.3％増)、営業利益は20億94百万円(同141.6％増)となりました。
　新型コロナウイルス感染拡大抑止のため、４月７日に７都府県に対する緊急事態宣言が発令され、また、４月16日に全国に発令され、外食外飲みから内食家飲みへとシフトしたことにより酒販店売上は増加し、５月の大型連休には、ステイホーム、巣ごもり需要が増大し、ネット飲み会や、家族と一緒に食事をする機会の増加により、こだわり商品、機能性飲料などの需要が増加し、お客様の志向性は多様さを増しました。外出自粛や在宅勤務の影響が顕著に見られる結果となりました。
　「ウィズコロナ」の対応といたしましては、ドライブスルーの試みである「やまやドライブ」を導入しました。
　新規出店として、古河店(茨城県)、三田対中店(兵庫県)の２店を開店しました。これにより、2020年６月末における酒販事業の総店舗数は335店(前年同期比４店増)となりました。

［外食事業］
　外食事業における売上高は26億45百万円(前年同期比79.1％減)、営業損失は22億69百万円(前年同期は営業利益４億２百万円）となりました。
　外食事業では新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、４月８日から直営店約280店舗を、４月21日からは約300店舗を、５月６日まで臨時休業としました。５月７日以降も250店舗の臨時休業を続け、緊急事態宣言が全面解除された５月26日より順次営業を再開することとしました。
これらにより、当四半期は減収減益となりました。
　営業再開にあたって、お客様の行動パターンの変化への対応として、従来の居酒屋スタイルから食事を中心とした業態の開発を進めております。「ウィズコロナ」のフォーマットとして「焼肉　牛星」、「大衆食堂　安べゑ」、「和食旬菜　海鮮料理　はなの屋」といった業態を展開することで、業績の回復を図ってまいります。
　2020年６月末の飲食直営店は、491店(前年同期比30店減)、飲食ＦＣ店は、413店(同57店減)となり、飲食店の総店舗数は、904店(同87店減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

財政状態

（資産）

総資産は、前連結会計年度末と比べて19億36百万円（3.1％）増加し、652億56百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が10億92百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて15億83百万円（5.5％）増加し、304億71百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて３億52百万円（1.0％）増加し、347億84百万円となりました。

（負債）

総負債は、前連結会計年度末と比べて29億27百万円（11.0％）増加し、295億88百万円となりました。

流動負債は、買掛金で18億99百万円増加、短期借入金（１年以内返済予定の長期借入金を含む）で６億85百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて31億17百万円（14.2％）増加し、250億68百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて１億89百万円（△4.0％）減少し、45億20百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末と比べて９億91百万円（△2.7％）減少し、356億68百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の50.4％から48.5％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウィルスによる影響は世界的な広がりをみせ、現時点では収束時期の見通しが立たない状況にあります。当社グループの外食事業において展開する居酒屋業態につきましても、店舗の臨時休業や外出自粛要請などにより、多大な影響を受けております。このような環境のなか、当社グループの外食事業においては、衛生管理や感染拡大防止に努め、新しい生活様式に対応した営業を行うとともに、テイクアウトやデリバリーなどの拡充を進めております。また、お客様の消費行動の変化への対応として、従来の居酒屋スタイルから食事を中心とした業態への転換を加速しております。

しかしながら、新型コロナウィルスによる影響により、消費活動の回復の見通しが困難な状況にあります。また、勤務形態や生活形態が変化するなか、消費習慣が変化することも想定され、これらが当社グループにおける外食事業の業績に与える影響が不透明な状況であることから、業績予想の合理的な算定が困難となっております。

したがいまして、2021年３月期の連結業績予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2020年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,729	6,821
売掛金	4,814	5,250
商品及び製品	15,275	15,011
仕掛品	89	98
原材料及び貯蔵品	52	48
前払費用	1,032	957
その他	2,178	2,598
貸倒引当金	△283	△314
流動資産合計	28,888	30,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,438	33,487
減価償却累計額	△27,086	△27,172
建物及び構築物（純額）	6,351	6,314
機械装置及び運搬具	1,930	1,938
減価償却累計額	△1,796	△1,806
機械装置及び運搬具（純額）	134	132
工具、器具及び備品	9,366	9,367
減価償却累計額	△8,655	△8,669
工具、器具及び備品（純額）	711	698
リース資産	2,156	2,176
減価償却累計額	△1,831	△1,845
リース資産（純額）	325	330
土地	4,726	4,726
建設仮勘定	14	6
有形固定資産合計	12,263	12,208
無形固定資産		
ソフトウエア	94	99
のれん	9,296	9,127
その他	28	28
無形固定資産合計	9,420	9,255
投資その他の資産		
投資有価証券	912	1,017
関係会社株式	757	774
破産更生債権等	109	130
長期前払費用	103	103
退職給付に係る資産	25	23
差入保証金	9,249	9,174
繰延税金資産	1,576	2,029
その他	103	177
貸倒引当金	△90	△111
投資その他の資産合計	12,748	13,320
固定資産合計	34,432	34,784
資産合計	63,320	65,256

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2020年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2020年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,853	10,753
短期借入金	6,000	6,800
1年内返済予定の長期借入金	312	197
リース債務	152	147
未払金	1,861	1,622
未払費用	996	1,029
未払法人税等	835	993
未払消費税等	858	741
預り金	496	532
賞与引当金	512	373
前受収益	64	812
その他	1,008	1,062
流動負債合計	21,951	25,068
固定負債		
長期借入金	49	144
退職給付に係る負債	315	320
リース債務	339	329
役員退職慰労引当金	562	566
資産除去債務	1,519	1,524
その他	1,924	1,634
固定負債合計	4,710	4,520
負債合計	26,661	29,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,799	5,799
利益剰余金	22,832	22,474
自己株式	△8	△8
株主資本合計	31,871	31,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	118
退職給付に係る調整累計額	△9	△6
その他の包括利益累計額合計	53	111
非支配株主持分	4,734	4,042
純資産合計	36,659	35,668
負債純資産合計	63,320	65,256

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年６月30日）
売上高	41,733	37,401
売上原価	27,258	28,179
売上総利益	14,475	9,221
販売費及び一般管理費	13,202	9,393
営業利益又は営業損失（△）	1,272	△171
営業外収益		
受取利息	2	2
受取手数料	20	5
受取配当金	12	7
持分法による投資利益	5	4
雇用調整助成金	－	687
その他	29	62
営業外収益合計	70	768
営業外費用		
支払利息	1	3
店舗改装費用	6	2
店舗閉鎖損失	7	2
災害による損失	13	－
その他	10	7
営業外費用合計	39	16
経常利益	1,303	580
特別利益		
固定資産売却益	0	－
受取補償金	－	30
特別利益合計	0	30
特別損失		
固定資産除却損	－	0
減損損失	29	27
割増退職金	－	※2 82
新型感染症対応による損失	－	※1 1,201
その他	0	1
特別損失合計	29	1,313
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,273	△702
法人税、住民税及び事業税	558	620
法人税等調整額	△32	△495
法人税等合計	525	125
四半期純利益又は四半期純損失（△）	747	△828
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	178	△720
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	569	△107

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年６月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	747	△828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	82
退職給付に係る調整額	△0	4
その他の包括利益合計	△47	86
四半期包括利益	700	△741
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	522	△49
非支配株主に係る四半期包括利益	178	△692

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

（四半期連結貸借対照表関係）

前連結会計年度において「流動負債」の「その他」に含めていた「前受収益」は、金額的重要性が増したため、当第１四半期連結会計期間より区分掲記することといたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組替を行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動負債」に表示していた「その他」10億72百万円は「前受収益」64百万円、「その他」10億８百万円として組替ております。

（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積もりについて）

当社グループの外食事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止への社会的な要請を踏まえ、直営店及びフランチャイズ店において、臨時休業や営業時間の短縮等を実施してまいりました。緊急事態宣言の全面解除と各自治体による営業自粛の緩和後は、順次、店舗の営業を再開し、お客様や従業員の安全を第一として、衛生管理や感染拡大防止に取り組みながら、営業を続けております。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、2021年３月期第１四半期において、売上高は前年同月比20.9％となりました。これらの状況を踏まえ、現段階においては、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症による影響が１年程度続くとする過程の変更を要する状況にはないものと判断し、固定資産の減損損失の認識や繰延税金資産の回収可能性の判断を行っております。

（四半期連結損益計算書関係）

（新型コロナウイルス感染症による損失）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取り組みとして、政府および各自治体からの営業自粛要請や緊急事態宣言を受け、これらの対応に伴った感染防止対策等を実施しました。これにより発生した損失額を、新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に計上しており、その主な内訳は次のとおりであります。

休業期間中の従業員給与及び手当	650百万円
休業期間中の店舗当施設に係る固定費	487
感染防止対策費用等	63
計	1,201

（割増退職金）

当社の子会社である㈱つぼ八及び、つぼ八酒類販売㈱における希望退職者の募集による退職者への割増退職金であります。

（重要な後発事象）

当社の子会社であるチムニー株式会社は、2020年8月13日開催の取締役会において、以下のとおり希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

希望退職者の募集を行う理由

当社の子会社であるチムニー株式会社は、2020年3月期連結決算において発表したとおり、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、72店舗の閉店の意思決定を行っております。同社の大きな変革期において、今後の収益力、キャッシュ・フロー創出力の強化と、食事需要に対応した新業態への転換を加速していくことを重点施策として取り組んでいるなか、企業体質の強化と事業規模（店舗数）に見合った人員体制の適正化を図る必要があると判断し、希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

希望退職者募集の概要

募集対象者	在籍する正社員（コントラクト事業の社員を除く） （2020年7月31日現在の正社員数　971名）
募集人数	100名程度
募集期間	2020年8月13日から2020年8月26日
退職日	2020年9月30日
優遇措置	特別退職加算金を支給する。また、希望者への再就職支援を行う。

希望退職による損失の見込額

希望退職者募集に伴い発生する特別退職加算金等は、第2四半期連結会計期間において特別損失として計上する予定です。なお、現時点では応募者数等が未定であるため、業績に与える影響額は未定です。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2019年４月１日　至　2019年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,084	12,649	41,733	－	41,733
セグメント間の内部売上高又は振替高	380	0	380	△380	－
計	29,464	12,649	42,114	△380	41,733
セグメント利益	866	402	1,269	3	1,272

（注）１．調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」において29百万円であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2020年４月１日　至　2020年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,757	2,644	37,401	－	37,401
セグメント間の内部売上高又は振替高	105	1	106	△106	－
計	34,862	2,645	37,507	△106	37,401
セグメント利益又は損失（△）	2,094	△2,269	△175	3	△171

（注）１．調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」において27百万円であります。